

2013年8月7日  
テバ製薬株式会社

この資料は、2013年7月25日にテバ本社（イスラエル）が発表したものの邦訳です。  
訳に齟齬が生じる場合、原文が優先されます。

## テバとロンザ、バイオ製剤の合併事業を解消することで相互合意

- テバはバイオシミラー、バイオベター及び革新的バイオ製剤のバランスのとれたポートフォリオを創出するためバイオ製剤戦略を継続
- ロンザは受託製造とセルライン開発といった中核業務に特化し、非戦略事業領域への投資を中止

2013年7月25日、エルサレム（イスラエル）、バーゼル（スイス）-（BUSINESS WIRE）: テバファーマシューティカル・インダストリーズ社（以下、テバ社）（NYSE: TEVA）とロンザグループ（LONN: SIX）は本日、テバ・ロンザの合併事業（TL-JV）を戦略的に見直した結果、バイオシミラーの開発、製造、販売に向けた両社の合併事業を解消すると発表しました。2009年から始まった TL-JV の解消により、両社は各々が追求する独自の戦略を更に進め、両社それぞれがカバーするヘルスケア社会への貢献に注力することが可能となります。両社とも、本時点で合併事業が進めてきた成果や、投資価値を最大限に活かすためチャンスを探る構えであり、手ごろな価格で、効能のある安全なバイオシミラー治療が患者さんにとってメリットをもたらし、社会にも貢献するという考えには変わりありません。

テバのグローバル R&D のプレジデントであり、CSO でもあるマイケル・ヘイデン博士はこのように述べています。「テバにはバイオ製剤の領域において数多くの成功実績を有し、今後もこれまでの成功の上に実績を築くつもりです。今回の決定は我々が今後特化していきたいと考えている治療領域やポートフォリオ全般と整合性のあるバイオシミラー、バイオベターや革新的バイオ製剤のバランスのとれたポートフォリオを確立していくために選択的なアプローチを引き続きサポートするものであり、その結果このような領域における患者さんを更に支えていくことができると考えています」

ロンザファーマ&バイオテックマーケットセグメントの COO であるスティーブン・クツァー博士はこのように述べています。「合併事業を解消することにより、臨床開発や最終製品（end products）の営業等、ロンザにとって非戦略的な事業領域への投資を終了します。私たちの

評価では、バイオシミラーへの投資は当初計画していたよりも多くの資本を必要とし、また市場に製品が届くまで考えていた以上の時間がかかる事がわかりました。そのため弊社としては、今後受託製造と細胞ライン開発という我々の核となる専門的な分野に特化することによって、自らの役割を制限するつもりです」

## ロンザ社について

ロンザ社は製薬会社、ヘルスケアおよびライフサイエンス業界における世界でも有数の企業です。同社の製品とサービスは、カスタマーニーズに基づき、研究から最終製品製造にまで至ります。化学原薬およびバイオ原薬の製造及びサポートにおける世界トップの企業です。生物製剤は製薬業界ならびにバイオテクノロジー業界における成長の推進力の鍵となるものです。ロンザ社は新薬や、ヘルスケア製品の開発に重要な役割を果たす高分子、低分子、ペプチド、アミノ酸やニッチなバイオ製品などにおける高い能力を持っています。ロンザ社はまた、有害な微生物の成長を選択的に阻止もしくは、壊滅させるといった革新的で、化学的なソリューションを供与する微生物管理における世界トップの企業でもあります。同社の事業は水処理、パーソナルケア、保健衛生、産業保全、資材保護、木材処理など多岐に亘ります。ロンザ社は細胞ベースの研究、エンドトキシン検出、細胞療法製剤においてのトップクラスの企業です。加えて、同社は栄養素材の他、農薬市場へ価値の高いケミカル品やバイオ的成分を供給するリーディング企業でもあります。

ロンザ社はスイスのバーゼルに本社があり、スイスの証券取引所、SIX に上場しており、シンガポールの証券取引所(“SGX-ST”)の第 2 部に上場しています。2012 年度の同社の売り上げは 39 億 2500 万スイスフランでした。更に詳しい情報をお知りになりたい場合は、[www.lonza.com](http://www.lonza.com) をご参照ください。